

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2023年11月20日

【四半期会計期間】 第28期第1四半期（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）

【会社名】 株式会社エムティーアイ

【英訳名】 MTI Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 前 多 俊 宏

【本店の所在の場所】 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

【電話番号】 03(5333)6323

【事務連絡者氏名】 上席執行役員 コーポレート・サポート本部 経法務統括部長
清 水 智 雄

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

【電話番号】 03(5333)6838

【事務連絡者氏名】 上席執行役員 コーポレート・サポート本部 経法務統括部長
清 水 智 雄

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2023年2月14日に提出いたしました第28期第1四半期（自 2022年10月1日 至 2022年12月31日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものです。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績等の状況の概要

経営成績の状況

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

四半期連結損益計算書

注記事項

(セグメント情報等)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しています。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第27期 第1四半期 連結累計期間	第28期 第1四半期 連結累計期間	第27期
会計期間	自 2021年10月1日 至 2021年12月31日	自 2022年10月1日 至 2022年12月31日	自 2021年10月1日 至 2022年9月30日
売上高 (千円)	6,551,430	7,080,855	26,479,310
経常利益又は経常損失() (千円)	395,435	88,730	485,955
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期 (当期)純損失() (千円)	252,838	590,217	930,474
四半期包括利益または包括利益 (千円)	175,998	639,923	1,137,230
純資産額 (千円)	19,373,903	16,783,568	17,877,729
総資産額 (千円)	29,612,584	29,280,391	29,265,684
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期(当期)純損失() (円)	4.62	10.77	16.99
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	4.62	-	-
自己資本比率 (%)	52.3	44.6	48.1

(訂正後)

回次		第27期 第1四半期 連結累計期間	第28期 第1四半期 連結累計期間	第27期
会計期間		自 2021年10月1日 至 2021年12月31日	自 2022年10月1日 至 2022年12月31日	自 2021年10月1日 至 2022年9月30日
売上高	(千円)	6,551,430	7,091,062	26,479,310
経常利益又は経常損失()	(千円)	395,435	88,730	485,955
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期 (当期)純損失()	(千円)	252,838	590,217	930,474
四半期包括利益または包括利益	(千円)	175,998	639,923	1,137,230
純資産額	(千円)	19,373,903	16,783,568	17,877,729
総資産額	(千円)	29,612,584	29,280,391	29,265,684
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期(当期)純損失()	(円)	4.62	10.77	16.99
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	4.62	-	-
自己資本比率	(%)	52.3	44.6	48.1

第2 【事業の状況】

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績等の状況の概要

経営成績の状況

(訂正前)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業に積極的に取り組んでいます。

連結業績における売上高は7,080百万円(前年同期比8.1%増)となり、売上総利益は、売上原価の増加により4,542百万円(同2.5%減)となりました。

(中略)

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業には、BtoC型の月額課金サービス(女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く)のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業が属しています。

同事業の有料会員数は318万人(2022年9月末比2万人減)とほぼ横ばいとなりました。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大が続いていることにより、同事業の有料会員数の純減幅は縮小傾向にあります。

売上高は、前年同期比で有料会員数が減少した一方、連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおける動画販売を主因に5,137百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

営業利益については、『AdGuard』の入会促進に伴う広告宣伝費の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより、1,411百万円(同8.0%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス(クラウド薬歴、母子手帳アプリ等)が属しています。

同事業の月額有料会員数は58万人(2022年9月末比1万人減)となりました。また、調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大に注力し、2022年12月末の同店舗数は1,382(2022年9月末比118増)となりました。

売上高は、「クラウド薬歴」および子育てDX事業等の売上高が拡大したことにより1,001百万円(前年同期比10.2%増)となりました。営業損失については、先行投資費用負担が続いていますが、費用の抑制を実施したことから145百万円の損失(前年同期は336百万円の損失)となりました。

(訂正後)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業に積極的に取り組んでいます。

連結業績における売上高は7,091百万円(前年同期比8.2%増)となり、売上総利益は、売上原価の増加により4,552百万円(同2.2%減)となりました。

(中略)

(コンテンツ事業)

コンテンツ事業には、BtoC型の月額課金サービス(女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く)のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業が属しています。

同事業の有料会員数は318万人(2022年9月末比2万人減)とほぼ横ばいとなりました。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大が続いていることにより、同事業の有料会員数の純減幅は縮小傾向にあります。

売上高は、前年同期比で有料会員数が減少した一方、連結子会社の株式会社ビデオマーケットにおける動画販売を主因に5,118百万円(前年同期比10.3%増)となりました。

営業利益については、『AdGuard』の入会促進に伴う広告宣伝費の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したことにより、1,439百万円(同6.2%減)となりました。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス(クラウド薬歴、母子手帳アプリ等)が属しています。

同事業の月額有料会員数は58万人(2022年9月末比1万人減)となりました。また、調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大に注力し、2022年12月末の同店舗数は1,382(2022年9月末比118増)となりました。

売上高は、「クラウド薬歴」および子育てDX事業等の売上高が拡大したことにより1,011百万円(前年同期比11.3%増)となりました。営業損失については、先行投資費用負担が続いていますが、費用の抑制を実施したことから172百万円の損失(前年同期は336百万円の損失)となりました。

第4 【経理の状況】

1 【四半期連結財務諸表】

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,551,430	7,080,855
売上原価	1,895,025	2,538,631
売上総利益	4,656,405	4,542,223
販売費及び一般管理費	4,204,930	4,603,637
営業利益又は営業損失()	451,474	61,414

(訂正後)

	(単位：千円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,551,430	7,091,062
売上原価	1,895,025	2,538,631
売上総利益	4,656,405	4,552,430
販売費及び一般管理費	4,204,930	4,613,844
営業利益又は営業損失()	451,474	61,414

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(訂正前)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	5,042,451	984,905	155,485	713,758	6,896,601	-	6,896,601
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	10,606	12,877	-	160,770	184,254	-	184,254
顧客との契約から生 じる収益	5,053,057	997,782	155,485	874,529	7,080,855	-	7,080,855
外部顧客への売上高	5,053,057	997,782	155,485	874,529	7,080,855	-	7,080,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	84,744	3,366	-	315,556	403,667	403,667	-
計	5,137,801	1,001,148	155,485	1,190,086	7,484,522	403,667	7,080,855
セグメント利益 又は損失()	1,411,559	145,310	246,850	393,372	626,025	687,439	61,414

(訂正後)

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	5,042,451	995,112	155,485	713,758	6,906,808	-	6,906,808
一定の期間にわたり 移転される財又は サービス	10,606	12,877	-	160,770	184,254	-	184,254
顧客との契約から生 じる収益	5,053,057	1,007,989	155,485	874,529	7,091,062	-	7,091,062
外部顧客への売上高	5,053,057	1,007,989	155,485	874,529	7,091,062	-	7,091,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,412	3,366	-	315,556	384,335	384,335	-
計	5,118,469	1,011,355	155,485	1,190,086	7,475,397	384,335	7,091,062
セグメント利益 又は損失()	1,439,217	172,968	246,850	393,372	626,025	687,439	61,414